

山形県魅力ある県立高校づくり推進事業「次世代地域産業人材育成事業」

《申請者の現状》

山形県教育委員会では、令和5年度からの新規事業において、持続可能な地域社会の実現や、産業系高校教育の充実のため、自治体・産業界・大学等で構成する協議会（コンソーシアム）を産業系高等学校13校に設置し、地域のニーズを踏まえた教育課程の開発や地域産業界との連携・協働による特色化・魅力化を図ることとした。（コンソーシアムの設置は、R7閉校の新庄南を除く。）

《実施内容》

本事業においては、産業系高等学校14校を拠点校に指定し、コンソーシアムの円滑な運営と地域産業界との連携強化を図るため、地域産学連携コーディネーターを派遣する。

拠点校における各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）の研修や産業現場における長期研修（インターンシップ）や地域産業界との連携を図る。（新庄南を拠点校に加える。）

《背景》

- ・中教審答申「新しい時代の高校教育の在り方」
- ・学校教育法施行規則改正（R4. 4. 1）
- ・山形県産業教育審議会答申（R4. 10. 26）

《課題》

- ・コンソーシアムにおける地域産業界との連携強化
- ・社会や各産業の変化に対応できる人材の育成
- ・山形の各産業の未来を担う人材の育成（県内定着）
- ・産業系高校の志願倍率の低下

県立産業系高校 産業教育連携協議会(コンソーシアム)

【大学・学校関係者】

- ・大学教授
- ・県立産業技術短期大学校教授等
- ・校長、同窓会、PTA関係者等

【自治体】

- ・県、総合支庁担当課
- ・市、町教育委員会
- ・市、町担当部局長

【産業界】

- ・商工会議所・企業
- ・JA、農業経営者
- ・市町商工会等

＜産業教育連携協議会(コンソーシアム)事務局＞

事務局長：各校事務部長（教頭、事務長）
事務局員：市、町各課員、市商工会、学科長等

【コンソーシアムの事業概要】

- ・各産業高校に自治体、産業界、大学等からなる協議会を設置
- ・各産業高校の魅力化・特色化に向けた地域連携事業や教育課程について、協議会において検討する。
- ・各産業高校において、小中学校との連携を強化し、各産業の担い手を目指す入学者増を図る。

拠点校 14校

連携・支援

《目的》

- 生徒が、地域や社会をフィールドとした学びの中で、技術の進展を肌で感じ、学校の学びを社会貢献に活かそうとする意欲を持つ職業人の育成
- 外部人材の活用により、地域との連携・協働による探究型学習の推進
- 地域産業の理解により、県内就職等地元定着や、大学等進学後の県内回帰

令和7年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業
魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」

山形県

拠点校 14校

【山形県教育委員会】

- ・事業運営委員会（年2回）
- ・地域産学連携コーディネーターの配置（拠点校へ派遣）
- ・産業教育連携校会議開催
- ・産業教育連携シンポジウム開催
- ・成果報告書（デジタル版）発行

【拠点校(山形県立産業系高校14校)】

- ・次世代産業人材育成研修プログラム
- ①次世代分野（AI・IoT・UAV・ロボティクス）研修
拠点校において、次世代分野のスペシャリストによる授業・研修の実施
- ②次世代産業分野長期研修（インターンシップ）
産業現場における長期研修において、地域産業の次世代を担う人材の育成を図る。

地域産学連携コーディネーターによる地域産業界とのマッチング